

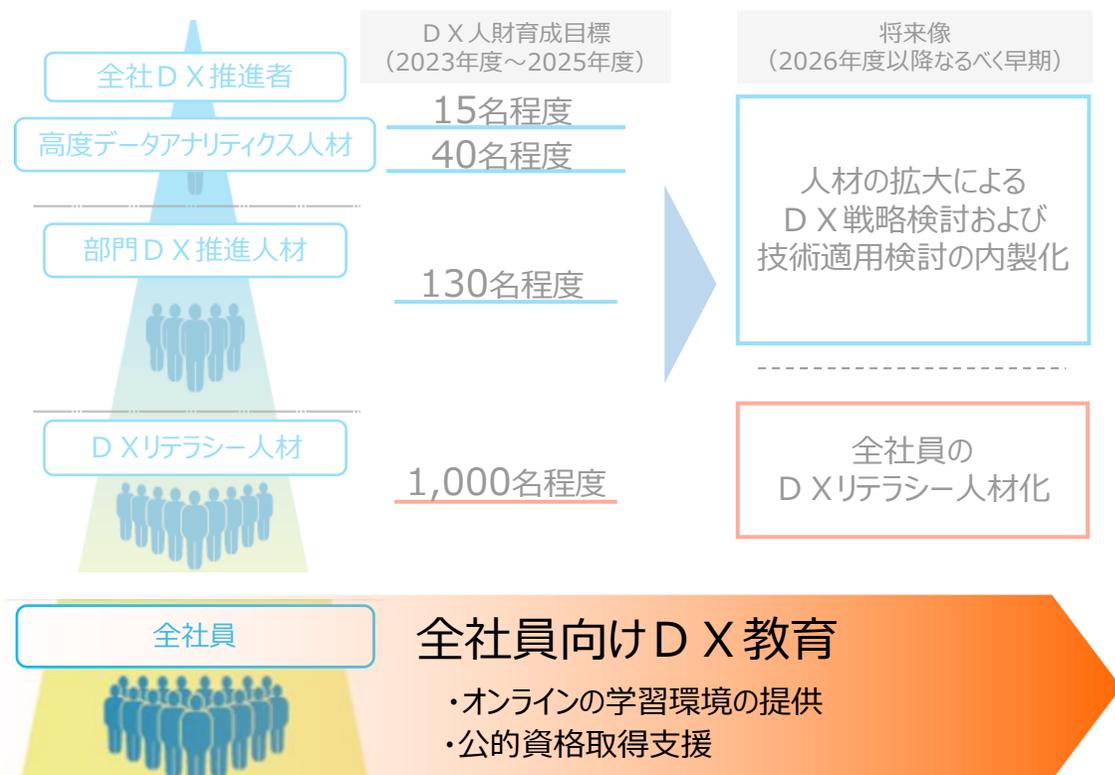
**委員から頂いた御質問への回答について  
(養成費)**

2023年4月17日  
東北電力株式会社

項目	ご質問	回答
<p>養成費 における DX関連費</p>	<p>・全社員向け教育（31百万円）について、費用の内訳を確認したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内訳は以下の通りです。（詳細はP. 3）</li> <li>A) 教育プラットフォームの利用料 [10百万円]</li> <li>B) 教育コンテンツ購入・作成費用 [3百万円]</li> <li>C) 公的資格支援等、希望者向け追加コンテンツ費用 [18百万円]</li> <li>D) IoT・ロボット関連実地研修 [1百万円]</li> </ul>

- 弊社においては、DX戦略や技術適用検討等を担い、全社のDXをけん引する人材を育成することに加え、全社員が実際にDX化された業務を適切に運用するためのデジタル技術に関する基礎的な知識を備えることが必要と考えております。
- そのため弊社においては、全社員を対象としたオンラインの通信教育環境を整備し、DXリテラシー人材への円滑なステップアップや全社のリテラシー水準の維持を推進していくとともに、DXの取り組みを担う人材の裾野を広げていくこととしています。

## ■ 全社員向けDX教育の位置づけイメージ



## ■ 全社員向けDX教育のコンテンツ例

コンテンツ例	学習内容
プロマネ資格対策講座	プロジェクトマネジメントの世界標準資格についての動画講義、問題演習等
クラウド資格取得対策	実務で役立つ各種ベンダー資格に対応した動画講義、模擬演習等
IT系国家資格取得支援	ITパスポートや基本情報技術者試験に対応した動画講座、模擬演習等
ビックデータ講座	最新のテクノロジーがどのような価値をもたらすかを動画講義で学ぶほか、実際にディープラーニングを用いた日本語解析環境の構築を体験する
ソフトウェア開発講座	ツール活用によるノーコードでのソフトウェア開発を動画講義で学ぶ
D Xリテラシー向上講座	A I、I o T、クラウドの各分野において全体像の理解から活用方法までを動画講義で学ぶ

## 2. 全社員向けDX教育の費用内訳について

- 全社員向けDX教育の費用内訳は以下のとおりとなります。
- 弊社においては、**A** 全社員への社内教育のベースとなる教育プラットフォームを導入し、社員が業務が輻輳する中においても、学ぶべき知識を、きちんと学べるような環境を構築しております。
- 一方で、**B** 全社員に共通して提供されるコンテンツでは最低限のデジタル教育のみであり、既存業務の変革や今後の事業環境変化に対応するDXリテラシーを身につけることには十分ではありません。
- そのため、各階層におけるDX人材教育を充実することに加え、**C** 希望者に対して公的資格取得支援も含むより専門性の高いコンテンツを追加提供することで、広く人材の教育を行っております。
- また、発電所運用のDX化に向けては、主に技術系社員を対象に **D** IoT機器等の操作を実地で学ぶ研修にかかる費用も計上しております。

### <全社員向けDX教育の費用内訳>

(単位：千円)

件名	2023	2024	2025	備考
<b>A</b> 教育プラットフォーム (ライセンス料・システム保守費用)	9,900	9,900	9,900	ライセンス料 7,500千円 ※1 システム保守費用 2,400千円
<b>B</b> 全社員共通コンテンツ購入・制作費用	2,600	2,600	2,600	コンテンツ購入費用および自社制作コンテンツの編集ソフトウェアライセンス料
<b>C</b> 追加教育パッケージ購入費用	17,500	17,500	17,500	25,000円×700名 ※2
<b>D</b> (主に技術系社員が対象) IoT・ロボット関連実地研修	970	970	970	訓練施設までの社員旅費 ※3
合計	30,970	30,970	30,970	

※1 持株全社員を対象に想定 ※2 全社員を対象に募集し希望性で受講、足元の受講者実績を加味し想定

※3 社員講師による講義のため講師料等の計上はなし